

国際会計基準審議会 (IASB) 議長の利点の1つは、非常に素晴らしい場所で時間を過ごすようになることです。メキシコはその場所の1つです。

修士号のために勉強していた際、ラテン・アメリカの研究を専攻していましたので、メキシコを訪れることはいつも楽しみなことであり、少しも大変なことではありません。

もちろんメキシコは、観光客のための目的地をはるかに超えています。40 か国超との自由貿易協定で、メキシコは国際貿易にとって世界で最も開放された国の中の1つです。輸出志向型の経済圏として、メキシコは国際化から多くの恩恵を受けました。メキシコは、非常に熟練した労働力と共に、ビジネスに優しい環境の利用を期待する多国籍企業が選択する目的地となっています。

世界経済と完全に繋がって、メキシコが2012年から完全に国際財務報告基準 (IFRS) を上場企業に適用すると決定しとことは道理に適っています。認知された業界基準が採用される場合、ビジネスはより効率的となります。同じことは財務報告にも当てはまります。IFRS を完全に、修正せずに採用することで、メキシコは、G20 メンバーの3分の2を含む100 か国超で使用される財務報告基準に完全に準拠することになります。

今年から、国際的な投資家は、メキシコの財務諸表を完全に熟知することになるでしょう。

これらの成果の多くは、メキシコ評議会 (CINIF) の功績に違いありません。CINIF は IASB の重要なパートナーであり、我々は継続した支援に大変感謝します。

今日の議題に移りましょう。

ご存じのとおり、IASB は米国財務会計基準審議会 (FASB) とのコンバージェンス計画の完了に近づいています。両審議会がこの方向を決めてから10年経ち、多くのことが達成されました。我々には、完了すべき4つのコンバージェンス・プロジェクトが残っており、私は比較的早くにこの作業を完了できることを期待しています。私の友人であり、ボード・メンバーの仲間である Amaro Gomes がこのプログラムで、後にこれらのプロジェクトの最新情報をお知らせします。

それでは、次は何でしょうか？ 次の数年間は IASB にとってどのように見えるでしょうか？ 我々の優先順位はどのようなものあり、我々は意のままに使える限られた資源をどのように使用するべきでしょうか？

昨年くらいから、評議員会と同様、IASBも真剣にこれらの質問を考えています。

評議員会は最近戦略レビューを完了し、IASBは将来の作業計画の最初の包括的レビューの完了に近づいています。

国際財務報告の今後の展望を知りたい場合、これらの2つのレビューを見るのが一番よいでしょう。そのため、私が最も重要な要素と考えることの説明に、この話の残りの時間を使いましょう。

アジェンダ・コンサルテーション

アジェンダ・コンサルテーションから始めましょう。

IASB前議長であるデイビッド・トゥイーディー卿は、IASBが議題のコントロールをほとんどしていなかったとかつてよく言っていました。

確にかつてはそうでした。IASBは、欧州と他国がアドプションするのに間に合うように、IFRSを改善することに最初の5年を費やしました。次の5年間は、主にFASBとのコンバージェンス作業で占められました。

これらの出来事はいずれも財務報告の品質に本質的な改善をもたらしましたが、IASBの作業計画を予め決めることにもなりました。

この作業の大部分は今、我々にとって過去のものです。IASBの歴史の中で初めて、我々は比較的白紙の状態になります。

私が「比較的」と言ったのは、新しいIFRS又は主な修正が適用されて2年後に、IASBは適用後レビューの完了を定款上、確約しているからです。これらのレビューを適切かつ適宜に行うには、審議会の時間と資源がいくらかかかります。

他のすべては容易に手に入ります。だからこそIASBは、将来の議題について、完全かつ包括的な協議を実施しているのです。2011年には、我々はコメント募集のために、いくつかの考えを提示した協議文書を公表しましたが、さらに重要なことには、議題に関するフィードバックを求めました。並行して、審議会とスタッフは、多くの会議、円卓会議での議論、ウェブキャスト及びその他のアウトリーチ活動を開催しています。例えば、ディ

スカッション・フォーラムが、次の金曜日にメキシコシティのメキシコ公認会計士協会で開催されます。

我々は、世界中の投資家コミュニティの意見を求めることに、特別に努力しました。

我々は皆、次の5年の間に実効されないかもしれない会計基準の特性に関してコメントするように投資家を促すことが、いかに難しいかがわかっています。

しかしひるまずに、我々は世界中のバイサイドとセルサイドのアナリスト、調査部のトップ、ファンド・マネージャーとの会議を開催しました。我々は国際ウェブキャストを開催し、CFA 協会のような投資家代表グループに対してオンライン調査を実施しました。

私は、この作業の直接的な結果として、現在までの他のどのIASBの活動よりも、アジェンダ・コンサルテーションに関して多くの投資家のフィードバックを我々が受け取ったことを嬉しく思います。

本協議は進行中であり、結果を早まって判断したくはありませんが、見つけるのが簡単な共通のテーマがいくつかあります。

最も一般的なフィードバックは、安定した期間の要求です。これは、かなり理解可能です。10年前、どの主要経済大国もIFRSを使用していませんでした。現在は、100か国超が使用しています。同時に、多くの我々の基準は書き換えられています。先例のない変化に富んだ10年間でした。世界中の我々の友人が、混乱がいつか収まって欲しいと願うのは驚くべきことではありません。

今、我々は、世界中のほとんどの人々を迎え入れ、静かな水に小石を落とすように、基準に小さな変更を加えることができます。変更は波紋を呼び、何万もの作成者に影響を与えます。投資家は、新しいルールをよく理解しなければなりません。監査人は監査手法を学ばなければならず、規制当局はそれらを執行する必要があります。

消化しなければならないのは、最終基準だけではありません。ディスカッション・ペーパーや公開草案などの形で、我々の提案に関するフィードバックの要求全てを検討しなければならず、多くの場合、回答しなければなりません。

これは、我々が非常に真剣に負う責任です。IASBの将来の作業計画を決定することには、変更が必要とされる最も重要な領域だけを選ぶことを含むからです。修理が必要とされることを修理しましょう。それだけです。

では、コンバージェンス後の作業計画にとってどのような意味があるのでしょうか。この分野の多くは、必然的に、コンサルテーションからのフィードバックに収まります。

第一に、我々の概念フレームワークの改訂を完了することは、ほぼ普遍的に支持されています。このフレームワークは、IASBの意思決定のための評価基準として機能します。選択肢が明確ではない場合、フレームワークは、IASBが基準間で首尾一貫した決定をすることを促すように機能します。

フレームワークは、原則主義の基準を適用する時に、企業にとって重要な参照ともなります。

我々には十分に合理的なフレームワークが既にあります。しかしながら、コンサルテーションからのフィードバックは、我々がこの作業の完了を優先しなければならないことを示唆しています。測定のような分野は、非常に重要なため無視することができません。

第二に、我々が過重な開示負担に苦しんでいることが益々明確となりました。これは、全て財務報告に起因するわけではありません。明白な事実は、ビジネスがより複雑になっているということです。財務報告の仕事は、この複雑さを覆うのではなく、説明することです。

すべての開示が投資家に有用な情報を提供するわけではありません。標準化された決まり文句の回答は、投資家がビジネスの覆いの下で何が起きているかを本当に理解するのに役立つというよりも、ボックスにチェックマークを付すようなものです。これは、作成者、監査人、規制当局、基準設定主体が共に対処しなければならない問題です。

我々にとっては、我々は開示規定が適切であることを確認する必要があります。ボトムアップ、すなわち、基準が最初に導入された時、個々の開示規定は合理的であったかもしれません。

しかし、トップダウンの観点からは、全体として開示は財務報告の明瞭性を改善しますか。それとも、何が本当に起きているか実際に確かめることを困難にしますか。

私はすぐに勝利となるものがないのではないかと思います。ある投資家には開示が散乱していても、他の投資家にとっては情報の金塊です。情報を取り去ることは容易ではありません。それにもかかわらず、アジェンダ・コンサルテーションからのフィードバックは、多くの回答者、特に小規模の上場会社にとって、これが重要な分野であることを示しています。小規模の上場会社の多くは、過重な開示負担が双肩に不均衡にのしかかると考えています。

有難いことに、我々は最初からやり直すのではなく、いくつかの優れた準備作業がこの分野で既に完了しています。

スコットランド及びニュージーランド会計士協会、フランス会計基準審議会、欧州財務報告諮問グループ（EFRAG）、英国財務報告評議会（FRC）、FASBは全て、現在の開示規定に関する独立した研究を行いました。我々は、新しいIFRSの開示フレームワークを開発するプロジェクトの一部として、他の同僚と共に彼らと連携していきます。

次に、我々はその他の包括利益（OCI）をどうするかを決定しなければなりません。

OCIは、特定の性質を持たない収益の発生源としてますます使われています。OCIで報告された収益が健康被害の警告文とならなければならないのは真実ですが、投資家はOCIを自分の責任で無視しています。

OCIのさらに明瞭な概念上の定義の提供は、リサイクリングの困難な問題への取組みと同様に、ボラティリティと財務報告に関する終わりのない討論を取扱うことに役立つでしょう。簡単な、もしくは明確な答えはありませんが、これは、取組むことを非常に楽しみにしているプロジェクトです。

最後に、審議会がおそらく考慮する、それほど大がかりでないプロジェクトがいくつかあります。これには、農業、共通支配下の企業結合、超インフレ及び料金規制産業が含まれます。

我々はさらにいくつかの円卓会議での議論を計画していますが、進む方向は明確になっていると言って差し支えないと思います。

私は、IASBが検討している他のプロジェクトを除外していませんが、我々が相対的に静寂な期間を提供するつもりならば、困難な選択をしなければならないでしょう。

戦略レビュー

次に、評議員会の戦略レビューを紹介します。

ご存じのとおり、評議員会は最近、組織の戦略とビジョンの広範なレビューを終えました。

このレビューと並行して、別のガバナンス・レビューが評議員会の作業を監視する IFRS 財団モニタリング・ボードによって実施されました。両方のレビュー共に読む価値があります。

このレポートでは、評議員会は多くの優れた提言を行いました。

これには、IASB のデュー・プロセスの監督の強化と専門研究機能の設立を含んでいます。

しかしながら、最も重要な提言は、IASB が基準設定主体、規制当局及び会計専門家との関係を強化し、正式化する必要性であったと考えます。

IFRS の開発には、各国や地域の基準設定機関との緊密な連携が含まれます。基準がいったん公表されると、世界中の国で使用することが承認されます。次に、監査人は基準準拠を証明し、証券規制当局は基準の使用を執行します。

今まで我々は、このサプライ・チェーンで、他の参加者との非公式な対話を通じて、偉業を達成しました。しかしながら、今こそ、この緩い関係から、強化され、かつ、より形式化された関係に基づいた、さらに統合されたサプライ・チェーンに移行する時期です。

統合されたサプライ・チェーンは、皆さんが製品の品質をより一層保証することができることを意味します。

この作業には 2 つの重要な利点があります。

最初に、このネットワークの形式化は、基準設定プロセスにおいて、各国及び地域の基準設定主体をより緊密に、より早い段階で結束させることで、我々の国際的な基準設定活動を大きく支援するでしょう。

そうすることは、IASB がより包括的な方法で、研究調査、フィールド・テスト及びアウトリーチ活動に関連する「重労働」を共有させることを可能にするでしょう。困難な問題を検討する際、IASB がより広い人材の蓄えを利用することを可能にするでしょう。さらに、このインプットを我々の基準設定プロセスへ投入するためのより正式なメカニズムを提供するでしょう。

このネットワークには、基準の品質を向上し、IASB とその他の基準設定主体との重複する取組みを削減し、特定の基準が承認されないリスクを削減する可能性があります。

だからこそ、ラテン・アメリカ基準設定主体のグループ（GLASS）の形成は、IASB にとって非常に重要なのです。GLASS には各国権威機関が意見を交換するための地域フォーラムを提供する可能性があります。我々は、この構想が成功することを非常に切望しています。

第二に、ネットワークは、この財務報告のサプライ・チェーンにおけるすべての参加者が、IFRS 適用のさらなる首尾一貫性を促すために共に作業するためのメカニズムを提供します。

単一の1組の基準は基本線を提供します。しかしながら、基準は国際的に首尾一貫して、承認、適用、監査、執行される必要があります。このネットワークは、証券及び監査規制当局、会計専門家及びIASB が首尾一貫性の改善や収斂していない分野の取扱い方法について議論するフォーラムを提供するでしょう。

多くの意味で、これは国際的な会計基準のジグソー・パズルの見つからないピースです。

このようなネットワークの構築は挑戦なしにはあり得ません。

何をメンバーシップ要件とするべきでしょうか？ ほとんどの人々は、我々が「各国会計基準設定主体」に言及する場合、何を意味するかを理解しています。

しかし、このような組織は、各国ごとに非常に異なるようです。FASB 又は CINIF のように、完全に独立した審議会がある一方で、他の組織は、財務省又は中央銀行の延長です。

我々は、CINIF 等の各国基準設定主体や GLASS 等の地域基準設定主体からのインプットの均衡をどのようにして保つのでしょうか？ EFRAG のように、基準設定主体ではありません。

ませんが、明らかに欧州での IFRS 採用に重要な役割を果たしている組織はどうでしょうか？

ネットワークは、IASB とどのように相互作用させなければならないのでしょうか？ それは、既存の IFRS 諮問委員会と似たように構築された、専門的諮問委員会の形を取らなければならないのでしょうか？ それとも、我々は他のメカニズムを創設する必要がありますか？

これらは、我々が今後数カ月で作業を開始する課題です。しかしながら、私は、国際的な財務報告基準の約束が達成されることになっている場合、この財務報告の完全に統合されたサプライ・チェーンの確立が不可欠であると確信しています。

結び

ご列席の皆様、ご清聴感謝します。我々にはしなければならない重要な仕事があります。そして、メキシコの支援は、G20 の現在の議長国として、我々にとって非常に重要です。私が信じるものは今後数年間 IASB にとって最も重要な目的であり挑戦であることを、今日皆さんと共有しました。我々の将来の議題はより明らかになっています。財務報告のサプライ・チェーンのメンバー間でより密接で強い繋がりを構築することで、我々が高品質でより国際的に首尾一貫した財務報告基準を供給することに役立つと期待しています。

お時間を頂き、ありがとうございました。会議が成功することを祈っています。